

約3ヶ年にわたって各種の実験が行なわれます。

放送衛星の特徴は、一つの電波で広い地域に一様なサービスができるということで、そのため現在、テレビが良く見えない地域や離島などへの放送サービスとか将来の新しい放送サービスなど、今後の放送の発展に大きな可能性が秘められています。

将来、放送衛星からの電波を一般家庭において簡易な受信装置で受信するためには、衛星からの送信出力を大きくしなければならないため、通信衛星とは構造が異なり、衛星はこのように羽を広げたような大きな太陽電池パネルで常に太陽の方向に向くような技術を開発しておく必要があります。また南北に細長い日本列島に、効率良く電波を届けるよう、衛星にとりつけたアンテナは、だ円形のパラボラを使っています。

